



月刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番

(公) 043(222)7207番

98.7.30 No. 4825

神奈川／関西で 動労千葉を支援する会



反動判決への怒りを集め



七月二三日、神戸市・神戸学生青年センターにおいて、関西動労千葉を支援する会主催による「動労千葉との交流会」が行なわれ、関西各地から七〇名のたなかう仲間が結集した。動労千葉からは布施副委員長が参加し、この間の物販や支援基金に対するお礼と、東京地裁五・二八反動判決をめぐる国鉄情勢を報告し、闘う決意を述べた。

主催者を代表して関西実行委員会は三浦半島地区教組の二本柳さんの司会で開会。呼びかけ人を代表して、自治労横浜の



その後、参加者をまじえ活発な意見交換が行なわれ、国鉄闘争を軸に闘う労働運動の新たな潮流をつくりだすために支援する会運動をさらに発展させることを誓いあつた。



ご支援に感謝します

○ 動労千葉は闘います！

九八夏季物販闘争も終盤を迎えて、目標に向けて、組合員及び応援してくださっている支援の皆さんとの奮闘に、心より御礼申し上げます。

今、政府は支配階級は、大企業と一体の大失業攻撃により、労働者への弾圧は、益々激しくなるとしています。この状況をそのままにしておくわけにはいきません。先日の参議院選挙の結果を見ても判るように、政

投票率をみても明らかです。ほんの少し、五〇パーセントちょっと投票率が上がつただけで政府自民党に対しても「NO」とした人がこれほどいたということです。「新安保ガイドライン」一周辺事態法等々、有事立法をつぎつぎ成立させようとしている今の国会に対して、これこそが国民の怒りの意志であると同時に、他のどの政党にも「NO」といつているのです。今こそわれわれ労働者が本

気になつて反撃の闘いを開始する時です。団結こそが最も必要な力です。

五・二八東京地裁による反動判決への怒りを全労働者の怒りとして、動労千葉の物販を通じて拡がつてきた団結の力を今こそ発揮する時です。九八夏期物販も終盤に差し掛っています。販も終盤に差し掛っています。一層のご支援をよろしくお願いします。

夏季物販やりりぬこじゅう！

5・28 判決への怒りを込めで

た後、動労千葉を支援する会事務局が一年間の活動報告と今後の取り組みについて提起、5・28判決という重大な情勢を受け、これから國鉄闘争の方向性をめぐる熱心な討議が行われた。

さらに集会では、中野委員長が國鉄闘争の現局面と勝利の展望について講演。また北海道の闘争団の仲間からも、反動判決をはね返して闘いぬく不屈の決意が表明され、最後に川崎市職労の小林さんが集会のまとめの提起を行い、國鉄闘争の勝利と、大失業時代に抗する労働運動の再生に向けて、新たな闘いを開始することを誓いあつた。